

## 会 議 議 事 録

1 会議名	令和5年度 長岡市防災会議
2 開催日時	令和6年3月28日（木曜日） 午後2時から午後2時51分まで
3 開催場所	アオーレ長岡東棟4階大会議室
4 出席者名	<p>（会長）磯田市長</p> <p>（委員）福島委員、内田委員（代理）、田村委員、高橋委員（代理）、西尾委員、金子（信）委員、中川委員、品田委員、中山委員（代理）、小森委員（代理）、帆苺委員（代理）、古泉委員（代理）、山岸委員（代理）、山崎委員（代理）、大滝委員、野口（和）委員、長谷川委員、渡邊（則）委員、茂田井委員（代理）、入澤委員、山田（慎）委員、谷畑委員、大野委員、小池委員、金澤委員、近藤委員、鈴木委員（代理）、伊藤委員、川上委員（代理）、吉田委員（代理）、徳山委員（代理）、川嶋委員、野尻委員、上野委員、五味委員、宮田委員、外内委員、渡辺委員（代理）、島田委員、野口（剛）委員、宮下委員、大黒委員、大島委員、古川委員、樋熊委員、三条委員、羽賀委員</p> <p>（事務局）金子防災政策担当課長、渡辺危機対策担当課長補佐、近藤防災政策担当課長補佐、上村危機対策担当係長、桑原防災政策担当係長、菊地主任</p>
5 欠席者名	小川委員、田中（健）委員、高見委員、中村委員、長澤委員、小村委員、岡田委員
6 議題	長岡市地域防災計画（本編）の改定について
7 審議結果の概要	長岡市地域防災計画（本編。原子力災害対策編を除く。）について、成案のとおり修正することを議決した。

8 審議の内容	
野口危機管理監 (委員)	<p>定刻になりましたので、これより令和5年度 長岡市防災会議を開催いたします。私は、長岡市危機管理監の野口と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>本日は、55人の委員のうち本人又はその代理人合わせて48人から出席をいただきまして、長岡市防災会議運営規程第2条第2項の規定により、会議が成立していることをご報告いたします。</p> <p>ここからの議事の進行につきましては、運営規程第2条第3項の規定により、議長である磯田会長に行っていただきます。</p>
磯田市長 (会長)	<p>皆様、こんにちは。年度末のお忙しいときお集まりいただき、本当にありがとうございます。この防災会議、令和5年度は長岡市地域防災計画の改定についてご説明させていただきながら、ご意見をいただきたいものです。</p> <p>災害が起きた時は、基本的には長岡市全体でこの地域防災計画に基づいて、各関係機関の皆様のご支援を賜りながら長岡市全庁的に動いていきたいと考えているところです。なにとぞ忌憚のないご意見をお願いします。</p> <p>ご承知のように、1月1日午後4時10分に発生したあのような能登半島地震が起きて大変びっくりしたわけです。今年は、中越地震から20年の年で、新潟地震から60年の年になりますが、このときにこのような大きな地震という事で、さてどうしたものかということでした。揺れがあって、私もすぐにアオーレに駆け付けました。報道機関は、3メートルの津波がくる、早く逃げろということでしたが、報道を受けながら実は寺泊の状況がよく把握できませんでした。映像がなく、寺泊支所が高台の山のほうにあるため海岸部の状況が分からなかったものです。非常に焦っているいろいろな方に電話して情報収集に当たり、幸いなことに津波の被害はありませんでした。多くの方々が高台に逃げてくださいました。魚のアメ横のところに100人以上のたくさんのお客様が残っており、角上魚類や店舗の皆様が率先して高台の避難所に逃がしてくれたり、近辺の車いすでないとは動けない方を運んでくれたという事がありました。地域の皆様、仕事をしている皆様の活躍で事なきを得たものです。</p> <p>それでも長岡市は、家屋の半壊が5戸、一部損壊が相当数ありました。最大震度が中之島地域で震度6弱ということで、そのうえ余震も</p>

<p>野口危機管理監 (委員)</p> <p>磯田市長(会長)</p>	<p>続きました。長岡市としては津波被害を今後どうするか。佐渡沖にのびる断層に割れ残りがあるという情報があり、その時に更に関連する断層も動くと場合によってはもっと大きな津波がくる。今回の津波は2、30センチ程度と見ておりますが、2メートル、3メートル、あるいはもっと大きな津波がくる可能性があるという事で、海岸部に監視カメラとか、各家庭にFM防災ラジオを配るなどの津波対策を、今進めているところです。</p> <p>そうしたことも含め委員の皆様からそうした諸問題、お気づきの点を含めて様々ご指摘をいただきたいと思うものです。</p> <p>昨今の異常気象、あるいは地震の頻発で国や県もいろいろな基準、考え方を見直してきており、それを反映させて今回の計画改定ということになっております。今後、いままで経験したことのない災害を含めてご議論させていただければありがたいと思っております。</p> <p>委員の皆様には本当にご苦勞様であります。是非、忌憚のないご意見をよろしくお願いたします。</p> <p>では、これ以降私から進行させていただきます。それでは議事に移ります。</p> <p>まず、長岡市地域防災計画本編の改定について、危機管理監からご説明申し上げます。</p> <p>(資料 No. 1 及び資料 No. 2 に基づき説明)</p> <p>説明は終わりました。質疑や意見はありませんか。</p> <p>(質疑等なし)</p> <p>それでは、お諮りいたします。長岡市地域防災計画本編の改定につきましては、本日提示の成案のとおりとすることにご異議ありませんか。</p> <p>(異議なしの声あり)</p> <p>ありがとうございます。では異議なしということで、本件は成案のとおりとすることに決しました。</p> <p>なお計画の公表までの間に字句の整理等、軽微な修正の必要が生じ</p>
---	---

<p>磯田市長（会長）</p>	<p>た場合には、会長に一任いただいてもよろしいでしょうか。</p> <p>（異議なしの声）</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>次に3報告事項に移ります。まず(1)長岡市地域防災計画（資料編）の改定について、危機管理防災本部長から報告があります。</p>
<p>入澤危機管理防災本部長（委員）</p>	<p>（資料 No. 3 に基づき説明）</p>
<p>磯田市長（会長）</p>	<p>説明は終わりました。本件について、質疑やご意見はございますか。</p> <p>（質疑等なし）</p> <p>では、これは報告事項ですので、この程度にとどめます。</p> <p>次に(2)津波対策の強化について、危機管理防災本部長から説明が<b>あ</b>ります。</p>
<p>入澤危機管理防災本部長（委員）</p>	<p>（資料 No. 4 に基づき説明）</p>
<p>磯田市長（会長）</p>	<p>説明は終わりました。本件について、質疑や意見はございますか。</p> <p>（質疑等なし）</p> <p>では、これは報告事項ですので、この程度にとどめます。</p> <p>次に(3)原子力防災の推進について、長岡市における取組状況を報告いたします。</p> <p>その後、原子力規制庁及び新潟県から、最近の動き、取組状況について、ご報告いただきます。</p> <p>まずは、長岡市から、長岡市の原子力防災に関する取組についてご報告いたします。</p>
<p>山田原子力安全対策室長（委員）</p>	<p>（資料 No. 5 に基づき説明）</p>

磯田市長（会長）	次に原子力規制庁柏崎刈羽原子力規制事務所 伊藤所長様、最近の国の取組状況について、ご説明をお願いします。
伊藤原子力規制庁 柏崎刈羽原子力規制事務所長（委員）	<p>（資料 No. 6 に基づき説明）</p> <p>原子力規制庁柏崎刈羽原子力規制事務所の伊藤です。よろしくお願 いします。</p> <p>資料は、昨日行いました委員会の資料で、こちらをもって説明させて いただきます。</p> <p>まず、簡単にこれまでの原子力関係の最近の動きについて説明させて いただきます。柏崎刈羽のセキュリティに係る追加検査が昨年度ま で3年弱ほど続いておりましたが、12月27日に終わり、検査の区分が 通常のものに戻ったというところです。</p> <p>1月1日に能登半島沖地震が起きまして、それに伴い地震災害と原 子力災害の複合災害が課題となっているところです。特に屋内退避に ついては検討が必要となっています。</p> <p>それをもちまして2月14日に原子力災害時の屋内退避の運用につい て委員会で論点を整理しました。資料4ページをご覧ください。</p> <p>論点を説明しますと3つポイントがあります。</p> <p>まず、複合災害の時は、自然災害をまず対応し、その後に原子力災 害の対応をするということは基本であり、これは変わらない。</p> <p>2つ目として原子力災害対策指針で避難と屋内退避を適切に組み合 わせることで、住民の被ばくを軽減すると書いてありますが、この防 護措置は引き続き有効であるということが議論されました。</p> <p>それでは屋内退避をどういう形で運用するかということは、具体的 に検討する必要があるということで、検討チームを構築することとい たしました。その検討チームが、昨日委員会で議論した資料1ページ 目の検討チームの設置というペーパーです。</p> <p>まず、複合災害は分離して考える。原子力災害の中で、指針は有効 である。指針の中にある屋内退避、避難をどういう形で運用するかを 検討チームで議論していくということになっている。</p> <p>2ポツのところにありますとおり、まず1つのポイントのところは、 これから再稼働するプラントは、全て新規制基準をクリアしたプラ ントのみであります。ですので、事象の進展というものが新規制基準 をクリアする前の1F事故とは違ってきます。その事象の進展をまず整 理します。その事象がどう進展していくかを整理したうえで、放射性 物質が放出された時の被ばくのシミュレーションを行います。そのシ</p>

	<p>ミュレーションを行うことによって、屋内退避の開始のタイミングですとか、対象範囲やどれだけ続けるかを議論できるということになります。それを議論したうえで屋内退避の時間ですとか、解除のタイミング、避難・一時転移の切り替えの判断を検討チームで議論していくことになっています。</p> <p>検討チームは、委員が伴委員、杉山委員、規制庁からは各関係するセクションの者、防災関係として内閣府、外部専門家として4人。自治体関係者として宮城県から1名、敦賀市から1名お呼びしまして検討チームを結成し、さきほど話したところを検討していくという流れになります。</p> <p>ここまでが昨日までの流れで、実は本日午前中に東京電力さんより使用前確認変更申請が提出されました。こちらには燃料装荷が、4月15日より実施するということが記載されています。これは、事業者が行う使用前事業者検査が燃料装荷前までのものがすべて終わりました、事業者が次のステップとしての安全確認する上で燃料装荷が必要になるというものです。燃料装荷が終わりますと、これまで出来なかった安全確認を東京電力が出来るようになるというものです。</p> <p>それらについては、私どもの事務所が原子力規制検査の中で、しっかり見ていきたいと思っております。</p> <p>規制庁からは以上です。</p>
磯田市長（会長）	<p>ありがとうございました。</p> <p>次に、新潟県防災局原子力安全対策課の金子課長様から、最近の県の取組状況について、ご説明をお願いします。</p>
金子新潟県防災局 原子力安全対策課 （委員）	<p>県の原子力安全対策課長金子でございます。資料は用意しておりませんが、県の最近の動きについてお話をさせていただきます。</p> <p>まず、原子力防災訓練は、先ほどの長岡市の報告にもありましたように、昨年秋、新潟県としては平成17年度以来18年ぶりに国と合同で実施しました。長岡市からは、山古志地区と小国地区の住民の皆様への避難、屋内退避などの訓練に協力していただきました。円滑に行われましたことに感謝申し上げます。</p> <p>来年度、県と市町村の合同訓練について、2月23日の首長会議でも要望という形でお話が出ました。特にUPZの市町村の方々から冬季の訓練を実施できないかというお話が、長岡市はじめ複数の市町村から来ております。県はいろいろな訓練を行ってきましたが、令和6年</p>

	<p>度は冬季の訓練をUPZの皆様と一緒にやれるよう考えていきたいと思っています。長岡市を含め詰めていきたい、相談していきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。</p> <p>防災のことではありませんが、県の行っている柏崎刈羽原発の安全対策の確認ということで県の技術委員会の最近の活動についてお話しさせていただきます。県の技術委員会は、平成30年度から柏崎刈羽原発の新規制基準に基づいた設置変更許可の審査について、まずは東京電力に質問を行ってきました。これは、去る2月15日の技術委員会でこの3、4年続けてきた質問が一区切り終えたことになりました。次回からは、規制庁を主とした国に質問していくということになります。次回の日程はまだ決まっておりませんが、できれば4月中に行う方向で調整していきたいと考えており、日程が決まりましたら、皆様にご報告させていただきます。この会は完全公開で行っており、報道にもかなり取り上げられる取り組みですが、どんな議論が行われているか皆様にもぜひ注目していただきたいと思っています。県からは以上です。</p>
磯田市長（会長）	<p>ありがとうございます。以上原子力防災について3つの報告がございました。</p>
	<p>今ほど報告のありました件について、質疑や意見はございますか。</p>
	<p>（質疑なし）</p>
	<p>本件は報告事項ですので、この程度にとどめます。</p>
	<p>次に(4)中越大震災と7.13水害から20年、防災力強化の取組について、危機管理防災本部長から報告をさせていただきます。</p>
入澤危機管理防災本部長（委員）	<p>（資料No. 7に基づき説明）</p>
磯田市長（会長）	<p>説明は終わりました。</p>
	<p>本件について、質疑や意見はございますか。</p>
	<p>（質疑なし）</p>

<p>入澤危機管理防災 本部長（委員）</p>	<p>本件は報告事項ですので、この程度にとどめます。</p> <p>次に(5)令和4年12月豪雪を踏まえた雪害対応体制の見直しについて、危機管理防災本部長から報告があります。</p> <p>（資料 No. 8 に基づき説明）</p>
<p>磯田市長（会長）</p>	<p>この件について、関係機関の委員からもご発言をいただきたいと思 います。</p> <p>まず、北陸地方整備局長岡国道事務所の田村事務所長様、お願いし ます。</p>
<p>田村北陸地方整備 局長岡国道事務所 長（委員）</p>	<p>（資料なし）</p> <p>長岡国道事務所の田村です。最後のタイムラインのお話にありまし たように一昨年の教訓を踏まえて、長岡市はじめ関係機関と密な連携 をとる体制とし、今冬は小雪だったため大きな問題はありませんでし た。引き続き、長岡市をはじめとする皆様と連携していきたいと思っ ておりますのでよろしく申し上げます。</p>
<p>磯田市長（会長）</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>次に、東日本高速道路株式会社新潟支社長岡管理事務所の太田副所 長様、お願いします。</p>
<p>太田副所長 川上東日本高速道 路株式会社新潟支 社長岡管理事務所 長（委員）の代理</p>	<p>（資料なし）</p> <p>東日本高速道路の太田でございます。令和4年12月の豪雪をふまえ まして、私共と長岡市様、長岡国道事務所様とオンライン会議などを 通じて情報活用させていただいてまいりました。幸い今年、雪で大 規模な立往生車両といったものが発生しませんでした。来年度以降も 情報共有させていただいて、対策していきたいと考えておりますので よろしく申し上げます。</p>
<p>磯田市長（会長）</p>	<p>ありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。</p> <p>今ほど報告のありました件について、質疑や意見はございますか。</p> <p>（質疑なし）</p>



<p>野口危機管理監</p>	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>以上で、本日用意した議題、報告事項のすべてが終わりました。</p> <p>本日は、委員がお集まりいただいているせっかくの機会ですので、皆様から何かご発言いただければと思います。</p> <p>日ごろ感じておられることとか、事務局にこんなことを考えたらどうというご提案でも結構です。計画に盛り込んだらどうかといったご意見などありませんでしょうか。</p> <p>よろしいでしょうか。それでは以上をもちまして、本日の議事はすべて終了いたします。ありがとうございました。</p> <p>進行を危機管理監に戻します。</p> <p>皆様、本日は「長岡市防災会議」にご出席いただきまして、ありがとうございました。</p> <p>ここで、事務連絡をさせていただきます。</p> <p>先般、皆様方に、新年度の人事異動などに伴う防災会議の委員の変更の有無について、照会をさせていただきました。今後も、人事異動などにより、委員を変更する必要がある場合は、危機管理防災本部まで連絡いただきたいと思います。</p> <p>また、委員を変更する際は、この防災会議を通じて、本市の防災対策に多様な視点を反映するため、女性の方の起用についてご検討くださいますよう、お願いいたします。</p> <p>それでは、以上をもちまして、「令和5年度 長岡市防災会議」を終了いたします。</p> <p>本日は、お忙しい中、誠にありがとうございました。</p>
<p>9 会議資料</p>	<p>別添のとおり</p>